

〈全校〉

人権教育参観日

- ・ 道徳、学活、国語など教科は限定せず、人権教育全体計画、年間計画の中から相応しいものを考えて実施。
- ・ 【人権教育講演会】（保護者）
演題 「ドクターヘリのここだけの話」
講師 小林誠人先生
事故現場から医療機関へ、1分、1秒でも早い初期治療により一人でも多くの人命を救うための体験談、命をつなぐドクターヘリの真実について熱い想いをお話しいただいた。
- ・ 【スマイル標語の取組】
いじめや人権問題について考えた人権標語を作成し、人権教育参観日に合わせて掲示し、保護者の方に見ていただけるようにした。



アンケートの実施

- ・ 【アセスアンケートの実施】
関係グループで結果を分析し、今後の支援や対応について話し合った。情報共有し、支援アンケートも作成。また、ふれあい面談も実施し、児童一人一人と面談した。面談によって、必要があれば対応、支援をした。
- ・ 【学校生活アンケートの実施】
結果を受けて、必要に応じて聞き取りと対応。その後の様子も気をつけてみていく。

大掃除週間（フレンズ掃除）

「きりんの木」の取組

- ・ 学校生活の中で気づいた友達のよいところ・努力しているところ、地域の人の素敵など、全校音楽の様子を葉っぱカードに記入したものを、「きりんの木」に掲示する。給食時間に放送委員会が紹介する。



〈委員会〉

期間中、各委員会で人権に関わる取組を計画し、実施した。

【図書委員会】

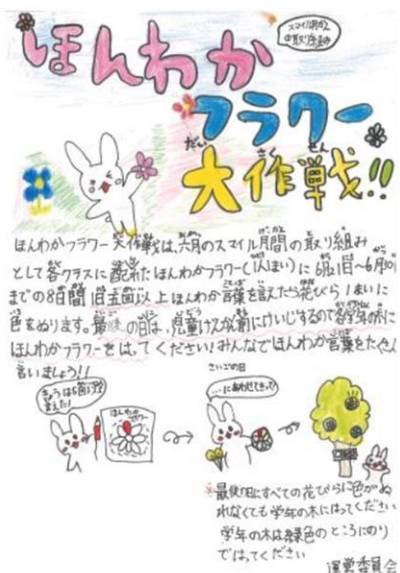
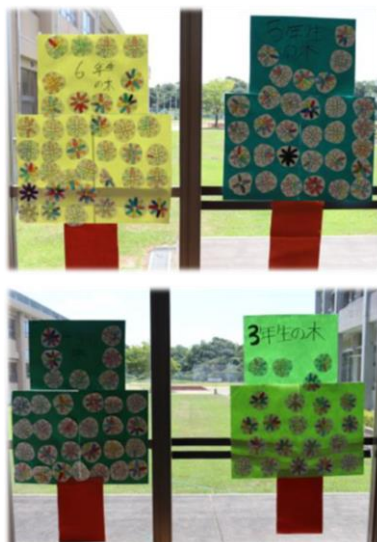
- 心が温かくなるような本のコーナーを作って紹介した。
- 心が温かくなるような本の読み聞かせをした。

【放送委員会】

- ほんわかする言葉を紹介したり、「きりんの木」の中から心が温かくなるようなエピソードを昼の放送で紹介したりした。

【運営委員会】

- 「ほんわかフラワー大作戦」
1人に1枚ほんわかフラワー用紙を配布し、1日5回以上ほんわか言葉が言えたら花びら1枚に色をぬる。最後の日にそのほんわかフラワーを各学年の木に貼り、児童玄関前に掲示した。



〈フレンズ〉児童会

学校花いっぱい運動の取組

- 花を育てることにより、命の大切さを感じ、情操を養うことや、児童会の一員として責任をもって世話をし、学校や地域にきれいに花を咲かせようという意欲をもつことを目的として、全校で役割分担して行い、フレンズの赤・青・黄・緑に分かれて活動した。
- 「愛育会」「まちづくり協議会」「公民館」「どんぐり児童クラブ」「グループホームわかばみどりの里」などの地域と協力して花の苗植えをし、学校や地域に配布した。

